

2026 年改訂版 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン
初版 正誤表

記載に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに下記の通り訂正致します。(2026.4.13)

訂正箇所	誤	正	版
p. 7 目次 推奨表 20	ARVC の生活指導および不整脈治療	ARVC における遺伝学的検査	1
p. 12 図 1「遺伝性不整脈の分子基盤と心筋活動電位」	1. 左図, I_{Na} の矢印, I_{to} の矢印の位置を, 少し左に修正 2. 左図, 左上の活動電位の縦軸に「-90 mV」「+30 mV」を追記 3. 左図, I_{CaL} の文字と矢印の色を, 濃い橙色へ変更 活動電位の灰色線と黒破線を, 下図に揃えて青色, 赤色に変更。 4. 右図, CaM, Ca イオンの位置修正 (CaM は I_{CaL} , RyR2 に結合している)		1
p. 12 図 1「遺伝性不整脈の分子基盤と心筋活動電位」注釈	RyR2 : リアノジン受容体 2	RyR2 : 心筋リアノジン受容体	1
p. 12 図 1「遺伝性不整脈の分子基盤と心筋活動電位」注釈 「 I_{Na} : 心臓 Na チャネル電流,」の次に追記		I_{to} : 一過性外向き K 電流	1
p. 12 図 1「遺伝性不整脈の分子基盤と心筋活動電位」注釈	I_{Ks} : 遅延整流性 K チャネル電流 (緩徐成分), I_{Kr} : 遅延整流性 K チャネル電流 (速成分), I_{K1} : 内向き整流性 K チャネル電流,	I_{Ks} : 遅延整流性 K 電流 (緩徐成分), I_{Kr} : 遅延整流性 K 電流 (速成分), I_{K1} : 内向き整流性 K 電流,	1
p. 23 図 6「先天性 LQTS 診断フローチャート」 注釈 末尾に追記		*推奨表 2 を参照.	1
p. 27 左段 7.2.1 生活指導 (運動制限) 3 行め	9. 二次性/後天延長症候群/ <u>QT</u> ,	9. 二次性/後天性 <u>QT</u> 延長症候群	1
p. 30 図 9「先天性 LQTS に対する治療フローチャート」	ICD/S-ICD*2 (推奨クラス I)	ICD/S-ICD*2 (推奨クラス I)	1

最左「VF または心停止の既往」の先	+	+	
	薬物治療	薬物治療 (推奨クラス I)	
p. 47 図 18「無症候性 BrS の検査および治療指針」 最下枠内の 1 行め	①若年・濃厚な突然死家族歴 ^{*2} , <i>SCN5A</i> バリエーション ^{*6}	①若年・濃厚な突然死家族歴 ^{*2} + <i>SCN5A</i> バリエーション ^{*6}	1
p. 50 図 22「心筋リアノジン受容体 (RyR2) 模式図」	1. ● (紫色) に Ca^{2+} と追記 2. CaM の位置を修正 (筋小胞体の膜には付かない) 3. CaM に Ca^{2+} イオンを 2 つ追記 4. L タイプ Ca チャネル (LTCC) から細胞内に流入する Ca^{2+} イオンの位置を修正, 数を追加 5. テキスト「T 管」「細胞質」「細胞膜」を追加		1
p. 79 推奨表 20 タイトル	ARVC の生活指導および不整脈治療	ARVC における遺伝学的検査	1
p. 87 図 40「ラミン心筋症における ICD/CRT-D 植込み適応フローチャート」 最下枠内	ペースメーカー (または ICD <u>植込み</u>)	ペースメーカー (または ICD)	1
p. 88 推奨表 23「ラミン心筋症の治療に関する推奨とエビデンスレベル」 一次予防第 2 項目	持続性または NSVT	持続性 <u>VT</u> または NSVT	1
p. 97 付表 1「遺伝性不整脈における遺伝学的検査の対象遺伝子」 <i>KCNQ1</i> の家族性 SSS	● (青色)	空欄	1

1: 初版